

令和5年4月19日 発行



こうじえん

普及センターだより

耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

第183号

着任のごあいさつ

宮古農業改良普及センター 所長 荻内 謙吾（おぎうち けんご）

春の陽気が心地よく感じられる季節となりました。春作業のさなか、皆様には今年度も安全で健康に暮らせること、そして穏やかな天候に恵まれることをお祈りいたします。

さて、私こと、このたび前任地の岩手県庁農林水産部農業普及技術課より着任しました。入庁して30年目、研究職が大半を占めていることもあり、初の沿岸勤務、初の普及センター勤務となりますが、普及センターのメンバーとして微力ながら宮古地域農業の発展に貢献できるよう努めて参ります。

さて、社会は、新型コロナウイルス感染者数が減少し、5月には5類への移行も予定されており、少しずつ発生前の経済活動へと戻りつつあります。一方で、海外での戦火による食料や資材不足への懸念、飼料や肥料、資材の高騰が依然として続いており、農業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、宮古地域での東日本大震災津波や台風10号豪雨災害からの復興が一步一步確実に進む姿を目にし、農業者をはじめ関係機関・団体一体となってこの難局を乗り越えていかなければと強く心に刻んでいるところです。

今年度から、県では県民計画の新たなアクションプランに基づき施策を進めることとしており、普及センターでもアクションプランに基づき新たな4カ年の「普及指導計画」を策定したところです。新しい「普及指導計画」に即して、農業者の収益力向上、産地力アップ、担い手の確保・育成等、着実に活動を展開して参ります。

宮古と岩泉の職場は、春の人事異動により転入が3名、再任用が2名の計19名体制で始動しています。赴任してきた職員には、早く地域と人を知ってもらい、活躍してくれることを願っています。また、私たちは「宮古地域の方々に頼られ、宮古地域の役に立ちたい」との意気込みで活動していく所存ですので、今年度もどうぞよろしくお願ひします。



令和5年度転入者の紹介

氏名 おぎうち けんご
荻内 謙吾

役職 所長（宮古）

前所属 農業普及技術課 農業革新支援課長

出身地 北海道本別町（居住地は紫波町）

趣味 バラ栽培（ガーデニング）、登山

抱負 宮古地域農業に貢献できるよう頑張ります。



氏名 かわと よしのり
川戸 善徳

役職 技術主幹 兼 地域指導課長（宮古）

前所属 岩手県農業研究センター 県北農業研究所 次長

出身地 岩泉町（居住地は紫波町）

趣味 ランニング、釣り

抱負 岩泉普及センター以来、26年ぶりの勤務です。宮古地域の農業発展に貢献できるよう頑張ります。



氏名 こんの ぜんこう
昆野 善孝

役職 上席農業普及員（岩泉）

前所属 一関農業改良普及センター 上席農業普及員

出身地 北上市（自宅は滝沢市）

趣味 ドライブ

抱負 体が資本!! 病気や怪我をせず、健康で元気に動き回りたいと思っています。



氏名 とみなが ともゆき
富永 朋之

役職 主任農業普及員（岩泉）

前所属 宮古農業改良普及センター 岩泉普及サブセンター 上席農業普及員

出身地 神奈川県

趣味 きのこ狩り

抱負 引き続きがんばります。



令和5年度 宮古農業改良普及センター 活動体制

所長 荻内 謙吾

産地育成課

産地育成課長 昆 悦朗

課員 (7名)

上席農業普及員	小原 善一	(総括・野菜)
上席農業普及員	名久井 一樹	(経営体育成)
主任農業普及員	澤田 建	(畜産)
農業普及員	千田 聡実	(果樹)
農業普及員	小野 直毅	(作物)
農業普及員	千葉 安紗実	(花き・野菜)
技師	戸田 諒	(作物)

地域指導課

技術主幹兼地域指導課長 川戸 善徳

課員 (3名)

上席農業普及員	鈴木 元	(総括・地域課題解決)
主任農業普及員	佐藤 知己	(6次産業化)
技師	佐々木 花純	(新規就農)

岩泉普及サブセンター

技術主幹兼所長 伊藤 修

所員 (5名)

《園芸振興チーム》		
上席農業普及員	佐々木 久彦	(総括・野菜・経営)
主査農業普及員	千葉 彩香	(新規就農・花き)
主任農業普及員	富永 朋之	(地域特産物)
《畜産振興チーム》		
上席農業普及員	昆野 善孝	(総括・畜産)
技師	伊藤 優希	(畜産)

※ 氏名横のカッコ内は主な担当(作目)業務

転出者の紹介～お世話になりました～

氏名	転出先
加藤 満康（所長）	盛岡農業改良普及センター（所長）
高橋 昭喜（技術主幹兼地域指導課長）	一関農業改良普及センター（技術主幹兼経営指導課長）
姉帯 咲桜（農業普及員）	奥州農業改良普及センター（農業普及員）
山本 麻由（農業普及員）	退職

農薬は適正に使用してください！

令和5年は3月から気温が高く推移しており、農作物の生育が進んでいます。農薬の適正使用に努め、農薬危害を防止しましょう。

- 1 農薬ラベルによる**使用基準の確認と使用履歴の記帳を徹底**
- 2 土壌くん蒸剤を使用した後の適正な管理の実施
 - 適正な材質及び厚さの資材で**完全に被覆**
 - 農薬の揮散によって**健康被害が生じないように、周辺環境に最大限注意**
- 3 住宅地等で使用する場合は、**周辺への配慮と飛散防止対策を徹底**
- 4 誤飲防止のため、**施錠された場所に保管するなど、保管管理を徹底**
- 5 **保護メガネ等の防護装備を着用し、防除器具等の点検整備を行う**
- 6 **体調がすぐれない、または著しく疲労しているときは散布作業に従事しない**

【担当：千田】

春の農作業安全月間が始まりました！

春が訪れ、農作業が忙しい時期となりました。

岩手県では、4月15日から6月15日を「春の農作業安全月間」としており、農作業事故の防止対策を呼びかけています。

令和5年度の岩手県農作業安全スローガンは「**農作業 慣れと油断が 事故のもと**」です。特に、近年の農業機械事故の大半を占める「**転落・転倒**」の防止対策が重点テ

ーマになっています。「**トラクターの安全フレームを装着して走行する**」「**機械に乗る時は、シートベルトやヘルメットを装着する**」「**農作業前に、作業場所や作業が終わる時間を家族などに伝える**」などといったことで、事故のリスクを減らせます。農作業でせわしいときは今一度、心に余裕を持つことを意識しましょう。

【担当：戸田】



（編集後記）

耕耳苑令和5年5月号をお読み頂きありがとうございます。宮古農業改良普及センターは新体制でスタートしました。今年度もよろしくお願いいたします。

さて、段々と暖くなるこの時期の農作業は、熱中症にも気をつけないといけませんね。水分と塩分を十分に補給しましょう。余談ですが、私はこの時期によく「冷感タオル」を使っています。ヒンヤリして気持ちいいのでおすすめです。

次月号は令和5年7月に発行予定です。お楽しみに！

（戸田）